



BOM for Windows Ver.8.0

RUNEXY MylogStar 4 Enterprise

監視テンプレート使用のための設定手順書

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関する責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

商標

本ユーザーズマニュアルに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」（Trademark）、「(R）」（Registered Trademark）は明記していません。

目次

本書について

製品表記

使用条件

MylogStar Agent ローカルログ容量監視の設定

(1) ローカルログファイルの隠蔽解除

(2) ローカルログファイルの保存先設定変更

本書について

製品表記

本書では、以下の製品について略称を使用しています。

| 正式名称 | 本マニュアルでの呼称（略称） |
|-------------------------|----------------|
| BOM for Windows Ver.8.0 | BOM 8.0 |

使用条件

本書には、BOM 8.0を使用して、RUNEXY MylogStar 4 Enterprise (Release5)に含まれる MylogStar Server または MylogStar Agent を監視するために必要な設定の手順が記載されています。

MylogStar Agent ローカルログ容量監視の設定

MylogStar Agent 監視テンプレートの「MylogStar Agent ローカルログ容量監視」で監視対象とするローカルログファイルはWindowsのシステム上から隠蔽されており、標準状態では監視できません。本監視を実行する際はMylogStar 4 EnterpriseのMylogStar Consoleからポリシー設定で隠蔽レベルを「中」または「なし」に設定し、隠蔽を解除する必要があります。

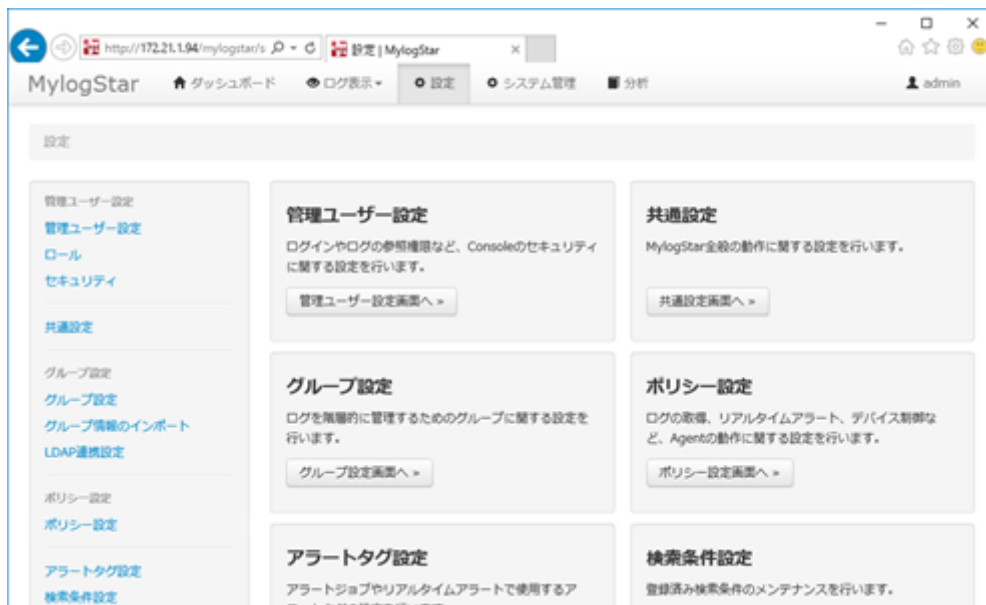
またローカルログファイルの保存先を標準設定から変更している場合は、環境に合わせて監視設定の変更が必要です。

(1) ローカルログファイルの隠蔽解除

- 本設定の詳細な手順についてはMylogStar 4 Enterprise付属のマニュアルを参照してください。
 - 「MylogStar Console」にログインし、上部メニューより「設定」タブ選択します。



- ポリシー設定の[ポリシー設定画面へ >>]をクリックします。



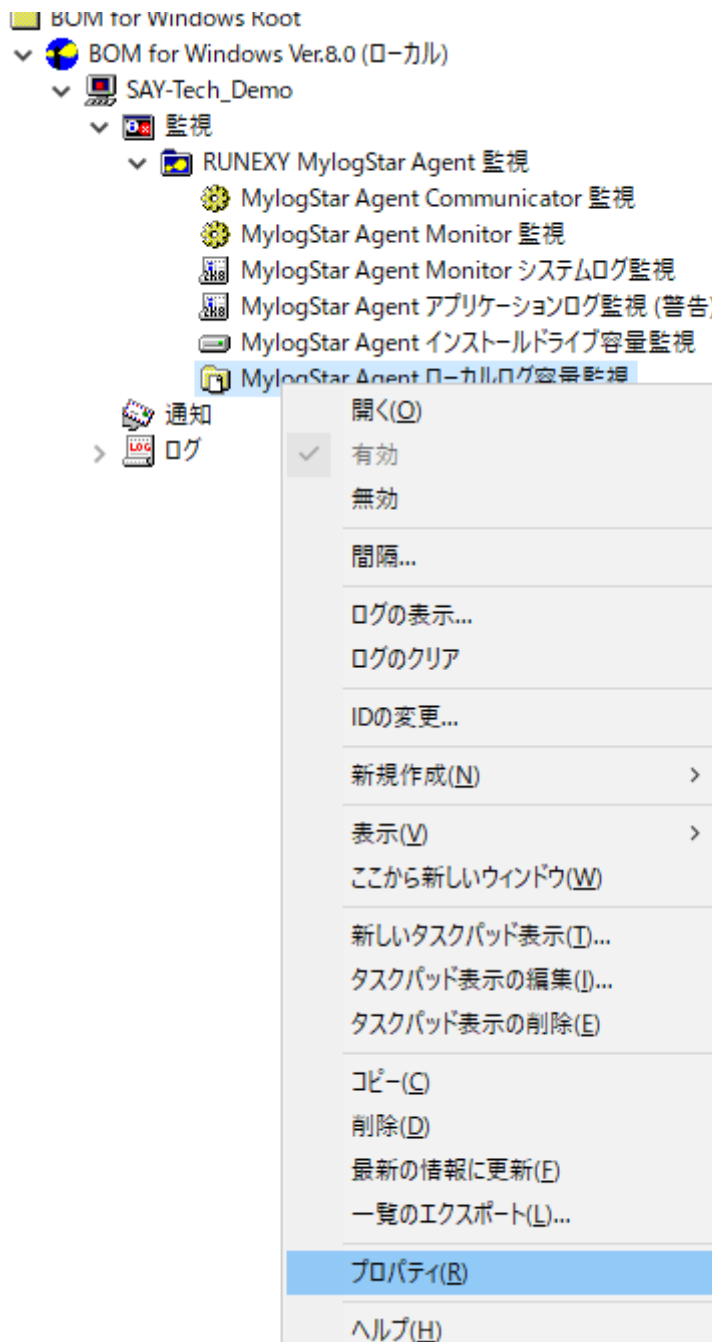
3. Agent動作設定欄から設定を変更するコンピューター、ユーザーまたはグループを選択するか、ポリシー設定欄から隠蔽レベルの変更を行うポリシーを選択します。
4. 「コンピューター」タブ → 「システム設定」タブを選択します。
5. 隠蔽レベルで、"中"または"なし"を選択します。

The screenshot shows the MylogStar web interface. At the top, there is a navigation bar with 'ダッシュボード', 'ログ表示', '設定', 'システム管理', and '分析'. Below this is a breadcrumb trail '設定 / ポリシー設定'. On the left, there is a sidebar with 'Agent動作設定' and 'ポリシー設定'. Under 'ポリシー設定', there are links for '新しいポリシー', 'ポリシーのインポート', '全てのポリシーのエクスポート', 'ポリシー一覧', 'Default Policy', and 'bom policy'. The main content area has tabs for '全般', 'ログ取得', 'フィルター', 'リアルタイムアラート', 'メッセージ', 'コンピューター', 'デバイス制御', and 'アクセス制御'. The 'コンピューター' tab is active. Below the tabs, there is a yellow warning box with text: 'コンピューター設定はユーザーには適用されません。ユーザーとコンピューターと異なるポリシーが設定されている場合はポリシーの適用範囲にご注意ください。設定によってはMylogStarが正常に動作しなくなる可能性があります。変更の際はマニュアルをご覧ください。'. Below the warning box, there are three sub-tabs: '通信監視設定', 'システム設定', and 'システム日付変更制御'. The 'システム設定' tab is active. The settings include: 'アイドル判定時間 (秒 1~43200)' with a value of 180; 'ネットワーク再接続時間 (秒 60~3600)' with a value of 300; 'ネットワーク初期通信タイムアウト (秒 5~600)' with a value of 180; 'IP情報更新間隔 (秒 60~3600)' with a value of 300; '1通信あたりの操作ログ転送数' with a dropdown menu set to 10000; '隠蔽レベル*' with radio buttons for '高', '中', and 'なし', where 'なし' is selected; and 'APIフック除外アプリケーションリスト*' with an empty text input field.

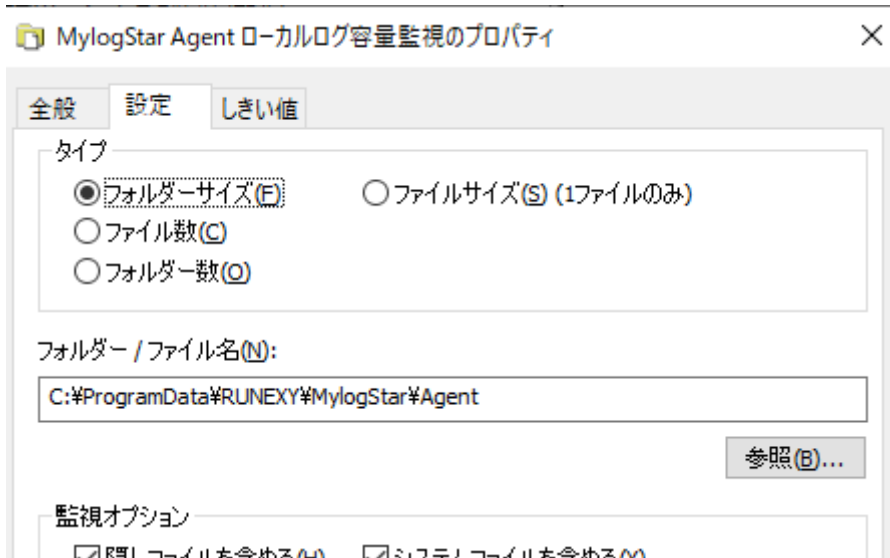
6. [更新]をクリックします。

(2) ローカルログファイルの保存先設定変更

1. スコープペインより、"インスタンス名" → "監視" → "RUNEXY MylogStar Agent 容量監視" → "MylogStar Agent ローカルログ容量監視"を選択して右クリックし、表示された右クリックメニューから"プロパティ"を選択します。



2. MylogStar Agent ローカルログ容量監視のプロパティで「設定」タブを選択し、「フォルダー / ファイル名」にローカルログファイルの保存先を設定します。



3. [OK]をクリックします。

BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル
RUNEXY MylogStar 4 Enterprise 監視テンプレート使用のための設定手順書

2023年2月15日 初版

著者・発行者・発行
セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン Ver.8.0.0.0

(C) 2023 SAY Technologies, Inc.